

## (18) 第73回 国民体育大会(ソフトテニス競技)

1. 主 催 (公財)日本体育協会・文部科学省・福井県  
(公財)日本ソフトテニス連盟・越前市・福井市
2. 期 日 平成30年10月4日(木) [少年男女・成年男女] 監督会議 (越前市) 午後3時～  
10月5日(金) [少年男子] 競技 (福井市)  
[少年女子] 競技 (越前市)  
10月6日(土) [少年男子] 競技 (越前市)  
[少年女子] 競技 (越前市)  
10月7日(日) [成年男子] 競技 (福井市)  
[成年女子] 競技 (越前市)  
10月8日(月) [成年男子] 競技 (越前市)  
[成年女子] 競技 (越前市)
3. 会 場
- [監督会議] 少年男女・成年男女 10月4日(木) 午後3時  
越前AW-1 スポーツアリーナ (武生中央公園総合体育館)  
〒915-0832 福井県越前市高瀬2-7  
TEL 0778-22-6395 FAX 0778-22-6396
- [競 技] 少年男子 10月5日  
福井市わかばテニスコート  
〒918-8067 福井県福井市飯塚町 10-8  
TEL 0776-33-1333
- 10月6日  
武生中央公園庭球場  
〒915-0832 福井県越前市高瀬 2-7  
TEL 0778-22-6395
- 少年女子 10月5日・6日  
武生中央公園庭球場
- 成年男子 10月7日  
福井市わかばテニスコート
- 10月8日  
武生中央公園庭球場
- 成年女子 10月7日・8日  
武生中央公園庭球場
4. 種 別 成年男子・成年女子・少年男子・少年女子
5. ルール ソフトテニスハンドブックによる

6. 試合方法

- ア 各種別とも点取り法によるダブルス2ペア・シングルス1名によるチーム対抗戦とし、マッチは全て7ゲームとする。
- イ 対戦はダブルス・シングルス・ダブルスの順とする。ただし、1対戦中選手は重複して出場できない。
- ウ 対戦の都度オーダーを変えてもよい。
- エ メンバーに欠員が生じた場合のオーダーは、ダブルス・シングルの順に出場しなければならない。
- オ 各種別ともトーナメント方式によって勝敗を決める。ただし、天候その他の事情により順位戦及び決定戦を行わないこともある。
- カ 対戦するチームが初回戦の場合はダブルス・シングルス・ダブルス全ての試合を行うがそれ以降は2点先取制とする。ただし、天候その他の事情により変更することもある。

7. 大会使用球 選択制(ケンコーボール・アカエム・スリクソン)

8. 日 程

種 別	10月5日(金)	10月6日(土)	10月7日(日)	10月8日(月)
成年男子			1・2回戦 準々決勝	準決勝 決勝 3～8位決定戦
成年女子			1・2回戦 準々決勝	準決勝 決勝 3～8位決定戦
少年男子	1回戦 準々決勝	準決勝 決勝 3～8位決定戦		
少年女子	1・2・3回戦	準々決勝 準決勝 決勝 3～8位決定戦		

9. 参加人数

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合 計 (人)
成年男子	1	5	21	126	648
成年女子	1	5	24	144	
少年男子	1	5	16	96	
少年女子	1	5	47	282	

※各都道府県の監督については、種別に参加する数と同数とする。

#### 10. ブロック大会区分および代表チーム数

ブロック名	都 道 府 県 名	成年 男子	成年 女子	少年 男子
北海道	北海道	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	3	2
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	3	4	2
北信越	新潟、長野、富山、石川	2	2	2
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	2	1
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	3	3	2
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	2	2
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	2	2	1
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	4	4	2
開催県	福井	1	1	1
計		21	24	16

11. 申込期日 平成30年9月5日(水)

#### 12. そ の 他

- (1) 選手・監督の変更は、(公財)日本体育協会にて定められた様式によるのみ認められる。
- (2) 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、総則5に定めるものとする。
- (3) 監督は(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認ソフトテニス指導員、公認ソフトテニス上級指導員、公認ソフトテニスコーチ、公認ソフトテニス上級コーチのいずれかの資格を有していること。
- (4) 監督を選手が兼ねることはできない。

#### 13. アンチ・ドーピングについて

参加者全員が検査の対象となります。検査対象となると、写真付きの身分証明証(免許証・学生証等)が必要となります。必ず持参するようにして下さい。ドーピング検査およびアンチ・ドーピング活動については、本冊子掲載の「アンチ・ドーピングガイド」を熟読すること。